

# とむろいし 戸室石だより

土塀の石垣のように、みんなで、暖かい病院を!



国立病院機構  
金沢医療センター  
National Hospital Organization Kanazawa Medical Center



(財)日本医療機能評価機構認定病院、地域がん診療連携拠点病院、地域医療支援病院

## 新しい病院情報システムがスタートしました。

医療情報管理室長・内科系診療部長 吉村 光弘



平22年9月20日から病院の受付や診察順の表示板、医療安全監視システムなどが6年ぶりに一新されました。システムには患者様へのサービスと医療の質の向上を目指した8つの大幅な改善策が盛り込まれています。それらを簡単にご紹介します。

### <1. 正面玄関の再診受付機を新型に更新しました>

従来の受付機に比べて格段に処理速度が増し、8時受け付け開始の5分後には行列はなくなってしまいます。診察は時間枠で予約制となっていますので、どうぞ、ゆっくりと座ってお待ちください。なお、当日予約のない方は窓口での受付となります。

### <2. 受付番号で患者様を診察室や会計にお呼びいたします>

番号での呼び出しは「あいそもない(寂しい)」というご意見もありますが、耳の不自由な方や名前をマイクで呼ばれたくないという方のプライバシーの保護のために、番号方式を採用しました。診察室の周りも静かになって聴診器の音が聞き取りやすくなりました。

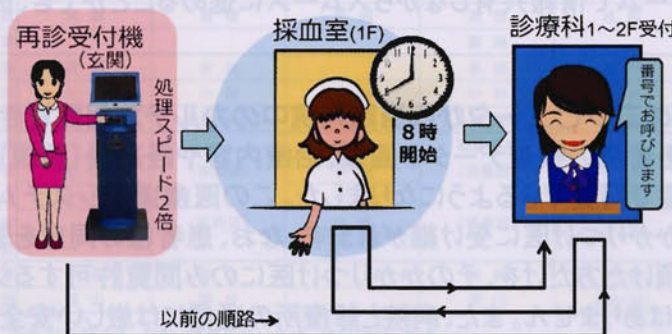
### <3. 採血やレントゲン撮影などの予約検査をすぐに実施できます>

当日予定の検査を診療科窓口に行く前に済ませられるようになりました。これで診療科と採血室とあいだを往復することがなくなり、足の不自由な方にやさしい道順にすることができました。

### <4. 朝8時から採血できます>

採血室も業務の開始を繰り上げて朝8時から採血するようになりました。受付から予定の採血をすぐにできるようになったためです。これで朝の混雑する時間帯の採血室での待ち時間が大幅に短縮されました。

スムーズな新しい順路



		本日はこの番号で診察室や会計でお呼びいたします
<b>受付票</b> 2010年09月27日 23時02分発行		
本日の受付番号 <b>78</b>		
患者番号	456-789-0	男
氏名	カナザワ ハナコ 様	
<input type="checkbox"/> 実施済		
[診療科]	内科	
[医師]	医師01	
[診療内容]	診察	
[予約時間]	07:00~07:15	
1階 採血室へ お越しください		
受付は完了しました。 受付票は会計が終了するまで お持ちください。		
金沢医療センター		



**<5. 診察室へまもなく呼ばれる5人の患者様の番号を表示します>**

待合室の大型液晶モニターの医師名のすぐ右には、現在診察中の患者様の番号(ピンク色枠)が、さらにその右には次に呼ばれる方の番号(黄色枠)が4人表示されます。診察が進むにつれて、自分の番号が左へと繰り上がっていきます。診察が近づいていることがわかりますので、トイレにも安心して行けると好評です。また、診察室にお呼びする際には、チャイムと同時に画面いっぱい大きく、番号が表示されますので視力の弱い方にも見やすくなりました。ただし、採血結果が出た方から先にお呼びすることもありますので、2~5番目の方の呼ばれる順番が前後することもありますのでご了承下さい。

内 科	診察中	つぎにお呼びいたします			
7診 伊勢 拓之	5068	275	434	434	208
8診 北 俊之	443	335	334	429	
10診 能登 裕	425	441	430		
11診 関 晃裕	227	13	207	337	
12診 小村 卓也	5207	5507	507		

次の方は受付まで  
内容により、順番が前後する

内科 8診



**443** 番の方

担当医: 北 俊之

診察室へお入り下さい  
順番が前後する場合がございます

**<6. 電子カルテの機能が大幅に強化されました>**

抗がん剤などの種類や使用量・注射の順序などが計画通りに行われているかを人とコンピュータとで二重にチェックします。これによって、薬の過剰投与やアレルギーを起こした薬が誤って投与されることが防げます。また、通常の点滴や輸血、手術室や化学療法室へ入られる患者様の確認をバーコードによってコンピュータでもチェックします。

**<7. 検査や治療が計画どおりに進んでいるかを電子予定表(クリティカル・パス)でチェックします>**

入院中に行われる検査や治療の予定をイラスト入りでわかりやすく患者様にお示しできます。また、科学的根拠に基づいた治療をチームで情報共有しながらスムーズに進めることができ、医療の質や安全性が向上します。

**<8. かかりつけの診療所のコンピュータから当院入院中のカルテが閲覧できます>**

かかりつけ医に戻られた患者様の検査データや画像、治療内容や経過表(新規追加)、カルテ記録などを、当院の中とほぼ同じ速度で閲覧できるようになりました。この医療連携システムによって、入院中の専門的な治療が詳しく正確にかかりつけ医に受け継がれます。なお、患者様の同意を署名でいただいたことを診療所からFAXでお知らせ頂けた方だけを、そのかかりつけ医にのみ閲覧許可するシステムですので、他の医療機関からは見られることはありません。また、病院と診療所の通信には厳しい安全対策を施してあります。



# 医療の広場

## 【診療科紹介】整形外科



### 1) スタッフ

池田和夫(いけだかずお)金沢大学病院臨床教授、日本手外科学会代議員、納村直希(おさむらなおき)日本整形外科学会および日本手外科学会認定専門医、上田康博(うへだやすひろ)日本整形外科学会および日本脊椎・脊髄外科学会認定専門医、内藤 充啓(ないとうみつひろ)日本整形外科学会認定専門医、長谷川 和裕(はせがわかずひろ)日本整形外科学会員の、合計5名の医師です。受付事務は北野さん。外来看護師は、坂井さんと萬寿さんです。



後列左から 北野、長谷川、坂井、萬寿  
前列左から 納村、池田、上田、内藤

### 2) 当科の特徴と実績

「一期一会」を心に刻み、「思いやりの医療」と「笑顔の職場」を目指しています。骨折などの整形外科疾患一般は当然ながら、神経や血管の繊細な手術が必要な疾患を診ることができます。特に、手外科・末梢神経・マイクロサージャリー、人工関節置換術、脊椎内視鏡手術に関する手術に関しては、北陸でも有数の実績を持っています。平成21年度の入院患者は、平均60名を超え、平均在院日数は29日、平均の外来患者数は70名を数えています。地域の医院との連携も密で、紹介患者数も毎月約60名もあります。年間約570件の手術を行っています。手術用顕微鏡を用いたマイクロサージャリー、無菌室における人工関節手術、手足の先天異常に対する形成手術、絞扼性神経障害に対する神経剥離手術、腱に関する手術、小侵襲骨折接合手術、リウマチ関節再建手術、人工膝関節置換術、人工股関節置換術、腰椎椎間板ヘルニアに対する髄核摘出術、腰部脊柱管狭窄症の脊柱管拡大手術、頸部脊髄症に対する頸椎椎弓形成術、外反母趾の矯正手術、陳旧性骨折や変形の症例に対する再建手術など多くの手術を行っています。

### 3) 外来診療

火曜日と木曜日が主な外来診療日で、月・水・金は手術日です。しかし、手術日にも当番制で外来を開いています。

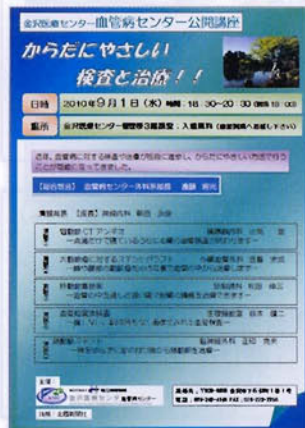


## 血管病センター公開講座の開催報告

血管病センター外科系部長 遠藤 将光



2010年9月1日(水)18:30から当院3階講堂において血管病センター公開講座が開催された。近年、血管病に対する検査方法や治療手段が格段に進歩し、身体に与える侵襲が少ない方法で行うことが可能になってきたので、今回は「からだにやさしい検査と治療!!」をテーマとして掲げた。




参加者は院内から51名、院外から23名と多数の方にご参加いただいた。総合司会は遠藤が担当したが、各演題は神経内科新田永俊部長の座長の元に発表と討論が行われた。最初は昨年4月に当院に導入された64列CTを駆使した「冠動脈CTアンギオ」について、循環器科小見亘先生より講演を頂いた。以前はカテーテルを動脈内に挿入して検査しなければならなかった病変が、点滴だけで寝ているうちに判明してしまう画期的な検査法である。次に心臓血管外科笠島史成医長から「大動脈瘤に対するステントグラフト」について発表して頂いた。胸や腹部の動脈瘤を小さな傷で血管の中から治療する方法で、手作りのステントグラフトから企業性のものが認可され普及してきたが、適応が大切であることも示された。3番目は「肝動脈塞栓術」について放射線科牧田伸三医長よりお話を頂いた。血管の中を通した細い管で肝臓の腫瘍を治療できる方法である。生理機能室鈴木健二講師には、動静脈に対して痛くなく副作用もなく繰り返し画像でみることでできる血管超音波検査についての発表があった。最後に頸を切らずに足の付け根から頸動脈の狭窄を改善できる頸動脈ステント治療について脳神経外科正印克夫部長から講演して頂いた。この方法は確かに見た目の傷は小さいが、脳梗塞などの合併症の危険性は頸部を切開して行う従来法の方が少ない場合もあり、本当に「からだにやさしい」のはどちらか、それを見極めるのが医師の努めであるというご発表であった。時代の流れは「低侵襲」の言葉に流されやすく患者様からの要求もそちらに向かう傾向が強いが、安易にそれに流されず「本当にからだにやさしい方法」を探して提示できるように警鐘を鳴らす、非常に重みのある意見で会は締めくくられた。




## 新任医師のご紹介

研修医4名を含む11名の医師が6月から11月にかけて着任しました。名鑑風に各医師をご紹介申し上げます。（順不同）


※①氏名 ②大学卒業年度 ③診療科 ④一言、モットーなど




①萱原 正都(かやはら まさと)  
②昭和57年度  
③外科  
④肝胆膵外科、鏡視下外科。特に、胆道・膵臓の悪性腫瘍手術を専門にしています。




①上田 康博(うえだ やすひろ)  
②平成8年度  
③整形外科  
④専門は脊椎外科です。患者さんが自分の家族ならどうするかを考えて治療にあたります。




①森田 晃彦(もりたあきひこ)  
②平成9年度  
③外科  
④




①鈴木 光隆(すずき みつたか)  
②平成15年度  
③呼吸器外科  
④より良い医療を提供できますよう、日々、精進していきたいと思っています。




①大藏 美幸(おおくら みゆき)  
②平成19年度  
③内科(血液内科)  
④




①岩崎 秀紀(いwasaki ひでのり)  
②平成20年度  
③小児科  
④「毎日の笑顔、を心がけています。短い勤務となりますが、よろしくお願ひします。




①上川 康貴(かみかわ やすたか)  
②平成20年度  
③内科(腎・高血圧・膠原病内科)  
④若輩者ではありますが、精一杯診療を行わせて頂いています。皆が笑顔でありますように。




①野村 亮介(のむら りょうすけ)  
②平成21年度  
③研修医  
④若輩者ではありますが、どうぞ宜しくお願いします。



①柳瀬 祐孝(やなせ ゆうこう)  
②平成21年度  
③研修医  
④



①坂下 なつみ(さかした なつみ)  
②平成22年度  
③研修医  
④7月より当院で初期研修をしています。目標は患者さんを緊張させないことです。



①武田 直也(たけだ なおや)  
②平成22年度  
③研修医  
④10月から1年間お世話になります。1日1日を大切に精進して参ります。

よろしくお願い申し上げます。





## ニッタ先生の神経百話(第19回)

意外なしびれの原因は…?(しびれシリーズIV)



今年の夏は殺人的な暑さでしたが、急に寒くなって体調管理も大変ですよ。寒くなってくると、しびれや痛みが気になります、トホホ。

「数年前から足がしびれるんです」と、神経内科を受診されたQさん。

ニッタ先生:どんなふうにしびれますか? ——> Qさん:足の裏がピリピリしたり、ジワジワしたりします。

ニッタ先生:熱い冷たいはわかりますか? ——> Qさん:それは大丈夫です。

ニッタ先生:歩きにくいのですか? ——> Qさん:少しふらつくような気もしますね。

ニッタ先生:いままでにどんな病気をしましたか? ——> Qさん:10年前に胃を切りました。

ニッタ先生:なるほど(…これで謎は解けた!?)。

Qさんを診察すると、触った感覚や痛みの感覚は正常ですが、足に音叉を当てても**ブルブル感**がわかりません。手足をハンマーでたたいても足が動きません(昔は脚気と言われました。脚気を含め、手足の神経が傷害されると、ハンマーでたたいても手足が動きません)。立ったまま目を閉じてもらおうとふらついて倒れてしまいました(当然、怪我のないように倒れる前に支えます)。さらに病気の証拠を集めるために採血をすると、貧血がありました(やっぱり!)。そして〇〇〇も低値でした…。

Qさんは以前、**胃を切った**ためにビタミンをうまく体内に吸収することができなくなり、**ビタミン欠乏**になっていました。検査したビタミン**B12**の値が低く、そのために手足の末梢神経が傷害され、しびれとふらつき、さらに貧血も出てきたのです。治療は簡単で、足りないビタミン**B12**を補えばいいのです。しかし、胃がないとお薬がうまく吸収できないため、しばらく**B12**の注射をすることにしました。胃がない場合、赤い血の元である鉄分やビタミン**B1**(脚気の原因)も不足する場合があります。

ニッタ先生:歳のせいかな、足がしびれるなあ。

看護師サン:胃は切っていないでしょ。腰が悪いんじゃないの?

ニッタ先生:腰は大丈夫。

看護師サン:性格は悪いけどね…。あっ、お酒かあ。

ニッタ先生:…(ちなみに、お酒の飲み過ぎでもビタミンが足りなくなりますよ!、皆様。御注意あれ)



### 院内コンサートだより

平成22年10月6日PM6:30病院講堂にて開催されました。

80人をこえる入院患者さんに聴いて頂きました。金沢大学医学部学生の男性アカペラ合唱グループ5人「ドクペラーズ」をゲストに迎え、「大きな古時計」、ビートルズ「抱きしめたい」など6曲、ボイスパーカッションや愛らしい振り付けとともに演奏し、会場を楽しませてくれました。ドクペラーズのうち2人は高校生時代に当院のロビーコンサートでピアノ、ビオラ演奏をしたとのこと、次回は研修医として戻ってくる事を関係者一同楽しみにしています。越田医師のお嬢さん、高校生の杏葉さん、発表会で仕上げたシューマン「森の情景」を深い音色でピアノ独奏して頂きました。



院内スタッフの演奏ですが、石川友貴薬剤師はフォーレ「夢のあとに」、チェロでウルトラCのハイポジション(高音)に挑戦しました。いつもおっとりした様子ですがこのあたりで飛躍を狙っていると思われます。「ロンドンデリーの歌」とともにピアノ伴奏に徹した宮川慶子薬剤師は得意のリズミカルな曲を封印しプログラムの完成度にこだわり休日も練習していました。いつももの静かな伊勢拓之医師は最近のコンサートでは短く激しい技巧的なピアノ独奏曲を選んでいきます。ガーシュイン「I Got Rhythm」、一発かましました。本当は激しい性格なのではと疑っています。伊勢医師とともに越田潔医師はヴァイオリンで葉加瀬太郎「冷静と情熱の間」とクライスラ「美しきロズマリン」を高い完成度で暗譜演奏しました。コンサートで初めて演奏する新曲披露と攻撃的な演奏が信条のはずですが今回は家族が見守る中、おなじみの曲で守りに入るとみました。最後に私、新曲!ブラームス「間奏曲」を伊勢医師とともに演奏しました。聴衆にはうけないと越田医師からはしぶい予想をうけていましたが意外と評判が良かったような。ブラームスが似合うし面白い歳になってきたのかなと、

(フルート、耳鼻科 瀧口哲也;記)



## 看護学校だより



第64回 立志のつどいを平成22年10月1日(金)、午前の部 立志のつどい式・記念講演会、午後の部 学年交流会の二部構成で開催しました。立志のつどい式は看護学校体育館にて多くの病院職員・保護者の方々、上級生が見守る中行われ、1年生は感激を胸に看護に対する誓いを立てることが出来ました。ありがとうございました。1年生には当校同窓会から送られたカーネーションのコサージュが教員の手で胸につけられ、感激もひとしおでした。1年生は87名、この日までにナイチンゲール誓詞唱和のリハーサルを行ってきました。そして式の後に予定している基礎看護学実習に向けて、気持ちを徐々に高めつつ、準備をしてきました。キャンドルサービスの後、ステージ上に整列し、代表が感謝と誓いのことばを述べました。式中のBGMにも若々しさやこれからの自分に誓う意志の強さを映した選曲となるよう、EXILEやオルゴール曲を選び、自分たちのこだわりを表現しました。ナイチンゲール誓詞を自分たちの解釈を考え表現しました。式中に述べた「誓いの言葉」をここに紹介いたします。



### 「誓いのことば」

同じ志をもつ仲間達と切磋琢磨し、辛いときには皆で励まし合い、看護学生としての誇りと責任を胸に3年間を過ごすことを誓います。

(代表 新森 憂圭)

初心を忘れず、今までの学びを生かして患者さんと心を通わせ、寄り添い、気持ちを理解し、最高の看護を提供できるような看護師を目指すことを誓います。

(代表 坂井 孝成)

日々努力し学び、患者さんとより良い信頼関係を築けるよう、精進していくことを誓います。

(代表 長納 南風)

看護技術、看護の知識を最大限に活用し、患者さんの 安全・安楽・自立・個別性を尊重し、援助できる看護師になることを誓います。

(代表 水上 慎也)





北陸で... 平成21年度の入院患者は、平均60名を越え、平... は29日、平均... の影響との関係も考え、紹介患者数も知... あります。



が、安易にそれに流されず、本当にからだにやさしい方剤を認めて提示できるように製薬を導かず、非常に重みのある意見で会合は締めくくられた。



## 投稿記事のご紹介

小文と短歌を御投稿いただきましたのでここで紹介させていただきます。

戸室石だより編集委員会

猛暑の中を蝉の声がにぎやかに聞こえてきます  
その夏も通り過ぎ秋の虫が淋しく又なつかしく日々を楽しませてくれ又その秋も  
暮れようとしております  
大自然に生かされ生活させていただいて体の調子もどうにかたまたれ感謝です  
おかげ様でございます



蝉しぐれ バトンをそっと コオロギに



田中 邦子

## 「戸室石だより」読者の皆様へ

### ～投稿記事募集のご案内～

戸室石だよりでは読者の皆さまより、短歌、俳句、随筆、エッセー、写真などの文芸作品を随時募集しています。頂いた投稿については戸室石だより編集委員会において厳正なる審査のうえ戸室石だより紙面上で紹介させていただきます。投稿先は下記のとおりです。皆さまのご応募お待ちしております。（戸室石だよりは1月、4月、7月、10月の年4回発行を予定しています。）

持参の場合：金沢医療センター内の「御意見箱」に投函、又は地域医療連携室までご持参の程よろしく申し上げます。

郵送の場合：〒920-8650 石川県金沢市下石引町1番1号

金沢医療センター地域医療連携室内 戸室石だより編集委員会事務局

Eメールの場合：[admin@kanazawa.hosp.go.jp](mailto:admin@kanazawa.hosp.go.jp)（表題を「戸室石だより投稿」として下さい。）

\*いずれの場合も住所、氏名、連絡先等の記載をよろしくお願い申し上げます。



# 担当医一覧表

平成22年12月1日

診療科目	診療時間	【初診受付時間】 午前8時30分～11時30分					備 考
		月	火	水	木	金	
内 科	初 診	吉 村	吉 尾/北	周 藤	長 岡	伊 勢	火曜日:初診は隔週交代です
	初診(消化器)	太田(肇)	小 村	高島/岡藤	関	丸 川	水曜日:初診(消化器)は隔週交代です
	内分泌・代謝①	能 登	長 岡	能 登	栗 田	長 岡	糖尿病教室:第1～第4水曜日(14:00～15:00)
	内分泌・代謝②		(能 登)	栗 田			高血圧教室:第2水曜日(15:30～16:30)
	腎・膠原病	伊 勢	伊 勢	上 川	吉 村	吉 村	
	透 析	上 川	吉 村	伊 勢	上 川	上 川	
	血 液	吉 尾	周 藤	吉 尾	周 藤	大 藏	
	呼 吸 器	北	廣 瀬	北	織 部	廣 瀬	禁煙外来:毎週火曜日(14:00～15:00)要予約
	消化器①	関	太田(肇)	小 村	太田(肇)	岡 藤	
消化器②	小 村	関	丸 川	丸 川	高 島		
精 神 科		坂 井	小 室	杉 盛	小 室	坂 井	
神 経 内 科		新 田	坂 尻	新 田	坂 尻	新 田	火:物忘れ外来(午前・要予約)
			物忘れ外来 (新田)	頭痛外来		ふるえ外来 (坂尻)	水:頭痛外来(午前) 金:ふるえ外来(午前)
循 環 器 科	一 診	佐 伯	中 村	池田(景)	中 村	中 村	初診(毎日)
	二 診	小 見	阪 上	阪 上	阪 上	小 見	
	三 診	池田(景)	佐 伯		佐 伯	池田(景)	
小 児 科	一 診	太 田(和)	酒 詰	太 田(和)	酒 詰	太 田(和)	予防接種:火・木曜日の14:30～15:30(要予約)
	二 診	水 野	前 馬	木 場	水 野	刀 祿	
	専門外来(午前)					酒詰・循環器	午後の専門外来:14:00～16:30(要予約)
	専門外来(午後)	太田(和)・夜尿外来 水野・神経	刀祿・未熟児発達 水野・アレルギー	太田(和)・腎臓疾患 木場・内分泌	酒詰・循環器 脇坂・神経	酒詰・循環器 太田(和)・膀胱造影	健診:火・木曜日の13:30～15:00(要予約)
外 科	一 診	桐 山	(手術日)	桐 山	(手術日)	桐 山	乳腺外来(初診)
	二 診	萱 原		小島(第1・第3水曜)		萱 原	月・金曜日の8:30～10:00(受付時間)
	三 診	竹 川		竹 川		竹 川	消化管ストーマ外来:第1水曜日 13:30～
	五 診	黒 阪		黒 阪		黒 阪	小島(第2金曜)
	六 診	初診 森田		松 村		初診 森田	初診 松 村
	七 診	道 輪		初診 森田		道 輪	道 輪
	乳 腺 外 来	道 輪		(桐 山)		竹 川	竹 川
整 形 外 科	初 診	池 田	納 村	長谷川	上 田	内 藤	
	再 診	長谷川	池 田	納 村	池 田	上 田	
	再 診		上 田		納 村		
	再 診	(手術日)	内 藤	(手術日)	内 藤	(手術日)	
脳 神 経 外 科	一 診	池 田	池 田	当番医	池 田	正 印	月・水・金曜日:手術日
	二 診	赤 池	正印/赤池	(手術日)	正 印	赤 池	火曜日二診は、一週交代です。(10:00～)
	午後予約外来				バーキンソン外来(池田)		木(14:00～)バーキンソン病外来(要予約)
呼 吸 器 外 科	一 診	太田(安)	(手術日)	太田(安)	(手術日)	太田(安)	
	二 診	鈴 木		鈴 木		鈴 木	
心 臓 血 管 外 科	一 診	再診のみ	遠 藤	再診のみ	遠 藤	再診のみ	初診(一診)は火・木曜日です。
	二 診	(手術日)	川 上	(手術日)	松 本	(手術日)	
	三 診		松 本		笠 島		月・水・金曜日:手術日
皮 膚 科	初 診 / 再 診	稲 沖	西 島	稲 沖	稲 沖	西 島	乾癬外来:木曜日(13:30～15:30)
	再 診	西 島	稲 沖	西 島	吉村(紫)	吉村(紫)	
	再 診	吉村(紫)	吉村(紫)		午後専門(乾癬)外来		
泌 尿 器 科	一 診	越 田	越 田	越 田	八重樫	越 田	ED外来:第2・4木曜日 14:30～
	二 診	石 浦	八重樫	石 浦	石 浦	石 浦	泌尿器ストーマ外来:第3水曜日 13:30～
		八重樫(手術日)		八重樫(手術日)		八重樫(手術日)	月・水・金曜日:手術日
産 婦 人 科	一 診	瀬 戸	平 林	瀬 戸	金 谷	瀬 戸	妊産婦健診:午前(月～金)
	二 診	平 林	当番医	平 林	当番医	平 林	助産師外来:午前(月～金)(要予約)
	三 診	金 谷	(手術日)	金 谷	(手術日)	金 谷	火・木曜日:手術日
眼 科	一 診	西	西	西	西	西	午後:助産師乳房外来(要予約)
	二 診	長 田	長 田	長 田	長 田	長 田	火・木曜日:手術日
耳 鼻 咽 喉 科	一 診	瀧 口	瀧 口	瀧 口	瀧 口	瀧 口	小児難聴:火～木曜日(要予約)
	二 診	荒 館	荒 館	荒 館	荒 館	荒 館	月・水・金曜日:手術日
	三 診				廣 瀬		
放 射 線 科	一 診	斎 藤	多 田		多 田	斎 藤	照射の依頼:毎日可
	二 診	小 林	小 林	小 林	小 林	小 林	
	(超音波)	徳 原	多田・牧田	大久保	多田・徳原	徳 原	
歯 科 口 腔 外 科	初 診 / 再 診	中 尾	(当番医)	能 崎	初診のみ	小 山	火・木曜日:手術日
	再 診	能 崎		中 尾		中 尾	
	再 診	小 山		小 山		能 崎	
	再 診			山 崎		山 崎	
麻 酔 科	一 診	岸 槿	岸 槿		岸 槿	岸 槿	火・木曜日:手術日
	二 診	横 山	野 竹		武 川	太田(敏)	ペインクリニック、術前診察:午前中

※ 特殊外来及び午後外来は、予約が必要です。なお、急患については、終日受付します。  
担当医は都合により変更となる場合がありますのでご了承願います。



## 外部の方の施設見学・訪問がありました

星が丘厚生年金病院(大阪府;来院日7/28)、J A長野厚生連篠ノ井総合病院(長野県;来院日8/11)、兵庫県議会健康福祉常任委員会(兵庫県;来院日9/7)の方々が施設見学のため来院されました。当院の電子カルテシステムや地域医療連携システム「百万石メディねっと」を中心に見学され、電子カルテや地域医療連携システムの導入に向けた院内の体制整備や取り組み方・経緯・経過、また、地域医療連携体制の整備・構築や病院経営についてなど、多岐にわたる事項について活発な質疑応答、意見交換を行いました。



(文責:地域医療連携室 菊山 譲)

### 〜〜金沢医療センターの理念及び基本方針〜〜

#### 【理 念】

私たちは、生命の尊さと人権を尊重し、安全で最良の医療をめざします。

#### 【基本方針】

- 一、説明と同意に基づく信頼される医療を提供します。
- 一、臨床研究を行い、医学の進歩に貢献します。
- 一、病診連携を推進して、地域医療に貢献します。
- 一、医療提供基盤の安定に努め、医療環境の向上を図ります。

## 患者の権利・義務

医療は医療者と患者さんとの信頼関係で成り立っています。金沢医療センターでは、信頼され安心して受診していただける病院を実現するため、患者さんの基本的な権利を明確にしてこれを職員一同が認識すると共に、患者さんにも義務を守っていただくことをお願いいたします。

#### 【患者さんの権利】

- 1. 人格を尊重した医療を受けることができます。
- 1. 良質な医療を公平に受けることができます。
- 1. 病状、治療法、見直しなどの説明を十分に受け納得の上で、治療方法を選ぶことができます。
- 1. 病状、治療法、見直しなどに関して、他の医師の意見(セカンドオピニオン)を聴くことができます。
- 1. 自分の診療録(カルテ)の記載内容について知ることができます。
- 1. 病状や診療内容に関する個人の情報は、厳密に保護されます。

#### 【患者さんの義務】

- 1. ご自身の健康状態をできるだけ詳細かつ正確に、医師をはじめとする医療提供者にお知らせ下さい。
- 1. 検査や治療方針について納得し合意のうえ、意欲を持って取り組んでください。
- 1. 快適な療養環境づくりに協力下さい。
- 1. 病院の規則と職員の指示を守ってください。

### 編集後記

昨年の今頃は、本年1月に「病院機能評価」の審査を受けるため、「医療の質の保証」をスローガンに、職員全員が一丸となって取り組んでいたことが思い出されます。

幸いにも今年4月には3回目の認定を受けましたが本当に「医療の質の保証」はされていますでしょうか? 今後も患者さんから適正な評価をいただき、胸を張って、「金沢医療センターは病院機能評価認定病院としての実績がある」と言っていただけるように全員でがんばりましょう。(Y・K)

発行元: 金沢医療センター (〒920-8650石川県金沢市下石引町1番1号) 電話: 076-262-4161 FAX: 076-222-2758

ホームページ: <http://www.kanazawa-hosp.jp/> Eメール: [admin@kanazawa.hosp.go.jp](mailto:admin@kanazawa.hosp.go.jp)

地域医療連携室直通電話: 076-262-4187、直通FAX: 076-262-4188

編集委員: 小原香耶、奥村達夫、金子祐子、菊山 譲、北川芳美、越田 潔、周藤英将、仲村恵子、中村由紀夫、西原寿代、森谷 長(五十音順)